

巻頭言

希望の源、キリストの復活

～2025年復活節 司教メッセージ～

教区司教 松浦 悟郎



主のご復活、おめでとうございます。今年、わたしたちは聖年の歩みの中で復活祭を迎えました。パウロが、「キリストが復活しなかったのなら、私たちの宣教は無駄であるし、あなたがたの信仰も無駄です」(1コリ 15:14)と述べているように、主の復活は私たちの信仰の中心であり、生きる希望なのです。キリストの復活は私たちへ生きる意味を与え、永遠のいのちへの復活と結びついているからこそ、私たちの人生はまさに「希望の巡礼者」としての歩みなのです。

さて、復活したイエスは、ある一定期間弟子たちに現れました。それは、「私は復活し、今もこれからもずっとあなたと共にいる」と伝えるためでした。私たちの人生をイエスがずっと一緒に歩んで

主のご復活、おめでとうございます。何を恐れることがあるのでしょうか。もちろん、人生のさまざまな困難、病や死と向き合う時、いくら信仰を持っていたとしても人間として揺らぎ苦しむのは当然です。しかし、人間として揺らいでいても、心の深い部分では揺るがない信仰が私たちを支えているのです。なぜなら、私たちは、聖年のロゴマークにあるように、激しく揺れ動く海の上であつても、揺らぐことのない「錨(いかり)」であるキリストにつながっているからです。

教皇フランシスコは、「聖年が、すべての人にとって、希望を取り戻す機会となりますように」(希望は欺かない)より」と願っています。混とした世界の中で、特に苦しむ人々にとって希望が与えられますようにと私たちも祈りましょう。



勉強風景



衣料品寄付

外国人生活困窮者 生活支援シェルターについて

教区司教 松浦 悟郎

皆さん、名古屋教区に外国人のためのシェルターがあるのをご存じでしょうか。

現在、日本に住んでいる外国人は2024年末で376万人を数えています。一口に日本に住んでいると言っても、在留資格もその生活状況はいろいろです。また、日本で難民申請している方々も多くおられます。しかし、特に、日本政府の難民に対する政策は厳しく(非人道的とも言える)、難民はほとんど受け入れず、また、実習生をはじめ、現場で働く労働者もいつでも帰らせることの出来る不安定な状態に置かれています。

こうした状況の中ですから、当然困窮する外国人が多く、彼らの悩みに相談、問題解決のためにいろいろな団体が支援活動をして何とか彼らをサポートしています。名古屋教区でも難民移住移動者委員会と「共の会」が他の団体と協力しながら活動しています。

ところで、支援する側でどこも困っているのは緊急宿泊施設がないことです。この点については、カトリック教会は貢献する可能性が大きいのです。教会にはさまざまな施設があり、最近では人が住まない建物も増えてきているからです。名古屋教区では、教区から撤退して使われなくなった2箇所(修道院建物)を修道会からゆずり受けたので、外国人のための緊急シェルターを作ることができました。2020年にオープンし、一つは男性のため、もう一つは女性のためです。

問題は、運営費です。2つのシェルターで光熱水道費だけで年間100万円以上かかります。食費やその他の活動費を入れると年間180万円ほどかかります。当初は、カリタスジャパンや他の援助団体に申請して、寄付をもらうことも出来ましたが、

今までは5年間で60人近くが利用しました。中には、事情があつて妊婦でシェルターに入り、出産した方もおられます。外国人に関わっている一般のNPOからも宿泊依頼が入ってきます。

このシェルターは名古屋教区の難民移住移動者委員会のもとにあります。が、実際に彼らの生活に直接関わっていているのは、「愛の実行運動」のメンバーです。生活のためにセカンドハウスから食料を定期的にもらったり、入所者のために日本語を教えたり、また、入管や会社に伴って彼らの問題解決のために働いてくれています。

問題は、運営費です。2つのシェルターで光熱水道費だけで年間100万円以上かかります。食費やその他の活動費を入れると年間180万円ほどかかります。当初は、カリタスジャパンや他の援助団体に申請して、寄付をもらうことも出来ましたが、

今までは5年間で60人近くが利用しました。中には、事情があつて妊婦でシェルターに入り、出産した方もおられます。外国人に関わっている一般のNPOからも宿泊依頼が入ってきます。

このシェルターは名古屋教区の難民移住移動者委員会のもとにあります。が、実際に彼らの生活に直接関わっていているのは、「愛の実行運動」のメンバーです。生活のためにセカンドハウスから食料を定期的にもらったり、入所者のために日本語を教えたり、また、入管や会社に伴って彼らの問題解決のために働いてくれています。

問題は、運営費です。2つのシェルターで光熱水道費だけで年間100万円以上かかります。食費やその他の活動費を入れると年間180万円ほどかかります。当初は、カリタスジャパンや他の援助団体に申請して、寄付をもらうことも出来ましたが、

第455号

2025年 5月

〒461-0004
名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報部
電話 (052) 935-2223
FAX (052) 935-2254
news@nagoya.catholic.jp
印刷所 株式会社 荒川印刷
毎月第1日曜日発行



2025年
通常聖年
希望の巡礼者となつて
聖年をともに歩みましょう

教区ホームページ

福音の
ひびき

5月の説教者

- | | |
|-----|----------------------------------|
| 4日 | 復活節第3主日
コンディ・ニコラウス
(神言修道会) |
| 11日 | 復活節第4主日
太田 実
(一宮教会) |
| 18日 | 復活節第5主日
小川 満
(北陸ブロック富山地区) |
| 25日 | 復活節第6主日
暮林 響
(神言修道会) |

寄付金振込先

郵便局振替 口座番号: 00820-2-12912
加入者名: 愛の実行運動事務局

通信欄に「シェルター寄付金」と記入願います。

連絡・問合せ先 愛の実行運動本部 電話番号 052-852-1426

名古屋教区

終身助祭叙階式

春とは言え、まだ肌寒さが残る3月20日、ヨハネ・マリア・ヴィアンネ秋元伸介さんの終身助祭叙階式が布池司教座聖堂で行われた。四旬節の真つ只中であるが、今日は特別、祭壇のまわりは美しい花で飾られ、お祝いの喜びを表していた。名古屋教区では8年ぶりの終身助祭誕生とあって、広い聖堂内は教区内外から駆け付けた多くの人々で埋め尽くされた。

「わたしをお使いください」の入祭の歌と共に、侍者、約50人の司祭団、助祭団、松浦悟郎司教の長い行列が入堂した。野村純一名司教も久しぶりに元氣な姿を見せ、また他教区からの司祭、助祭の参加もあり、内陣はいっぱいになった。

最初に松浦司教から「生涯に渡り喜びを持って助祭職を務められるように、このミサの中でともに祈っていきましよう」と、喜びの言葉とともに挨拶があり、ミサが始まった。

福音朗読(ヨハネ15章9-16)の後、秋元候補者の名前が呼ばれ、叙階の儀となった。続く説教の中で松浦司教は、終身助祭の務めについて、信徒に解りやすく話した。

叙階の秘跡には、司教、司祭、助祭の三種があり、叙階は教会の本質をなすもの。助祭職が始まったのは、初代教会の頃で、使徒たちが福音宣教に専念できるように、共同体に起こる様々な問題を解決するために選ばれた人々を助祭と呼んでいた。その後、5世紀位からは司祭になるための途中の段階をさすように変わってきた。その役割が強調されなくなっていた。しかし、第二ヴァチカン公会議の時に助祭の意味を明確にし、特に結婚している人たちにもその門戸が開かれた終身助祭制度を決定した。日本の教会は長い検討期間を経て、1994年にこの制度を取り入れることを決定し現在、8教区に27人の終身助祭がいる。

何のために第二ヴァチカン公会議が終身助祭制度を定めたか? それに



司教の接手

は3つの理由がある。①この奉仕職を通して教会を豊かにする。②信徒の中で、すでに助祭的な役割を果たしている信徒の使命を強め、教会と結びつける。③司祭の足りない地域の教会を助ける。助祭職は根本的には奉仕職であって、み言葉、典礼、愛の3つの奉仕がある。

秋元さんは長い間、社会の中で信徒として様々な働きをしてきた。それを今日の叙階によって神様が更に強めて下さる。秋元さんが終身助祭に叙階されるということは、同じように社会でパン種となつてみ言葉を示そうと生きている信徒たちを、大いに力づけるものとなるであろう。

説教の後、「受階者の約束」が、司教と問答の形で行われ、参列者全員が歌う諸聖人の連願が続

き、司教の接手と祈りによつて叙階の秘跡を受けた秋元新助祭は、喜びのうちに助祭団に受入れられた。秋元新助祭は、この後に続く「感謝の典礼」からは祭壇に立ち、ミサの奉仕を務めた。

大きな恵みと喜びに満たされた叙階式ミサの後、人々は地下ホールに用意された茶話会へ場所を移し、新たに喜びを分かち合った。秋元新助祭と記念写真を撮ったり、祝辞を伝えたり、又、久しぶりに出会った人々との交流の輪で大賑わいであった。



「わたしたちはおそろしいほどに、すばらしく造られています」

3月7日、四旬節に入つた二日目、布池教会で「世界祈禱日」が開催された。参加者は18名であった。

「兄弟がともに座っている。なんという恵み、なんという喜び」

カトリック教会には様々な祈禱日が定められているが、「世界祈禱日」は教派を超えたキリスト教女性たちが、平和と和解を求める祈り(2025年式文より)に祈りの中で作成した。

クック諸島の波の音、小鳥の囀りを聴きながら、キア・オラナ! (Ki-Orana) (歓迎と親しみをこめたこんにちわ!) で互いに挨拶を交わして集いが始まった。

讃美歌「造り主を賛美します」を歌い、み言葉を聴き祈る。ミサとは異なる一致の喜びを味わった。

説教を担当した布池教会主任マルセリーノ神父は、単刀直入に「祈りは誰のため、なんのために必要なのか?」と投げかけ、私たちは祈る前に自分の心に問わなければならないと話した。私たち

の心を知っている神は、既に私たちに必要なものを知っている。祈りを必要としているのは、私たちの心。祈りは、神と同じように「愛する人」に成れるよう、生きるために必要なのですと、優しく力強いメッセージを送った。

最後に祈禱日全体を締めくくってくれた松浦悟郎司教は、自然を傷つけ、人を傷つけること、それは神を傷つけること。今年の祈禱式文を作成したクック諸島の人々が自然とともに暮らす生活をヒントに、現代社会が神の息吹(いのち)によつて



第37回教区障害者連絡会の黙想会

「希望の福音(よろこびのメッセージ)」に参加して

カトリック南山教会マリア館2階ホールで、3月22日(土)9時30分よりカ障連名古屋の総会、黙想会は10時30分からおよそ60名が参加して行われた。今回の黙想指導者は、松浦悟郎司教と叙階されたばかりの秋元伸介終身助祭を迎え、当会担当司祭である志村武神父も出席された。

総会では、手話や要約ボランティアに比べて点字点訳のボランティアの方が不足しており、募集中との話が出た。

今回の黙想は講話とテゼの祈り、そして沈黙を繰り返す形式で行われ、松浦司教と秋元助祭のギターと、南山教会の加藤秀俊さんのキーボードの

素晴らしい伴奏に合わせ、祈った。

午前の講話では、「沈黙は祈りでもある」という話から入り、沈黙では様々な想いが出てくるかもしれないが、その中に神の思いが混じっている。神の思いを探すのではなく、神に教えていただくように願うのがポイント。信仰者にとって生活そのものが祈りでもあるが、祈りの時間をとることが大切とのことであった。

福音とは喜びのメッセージである。聖書には、神から離れていくイスラエルに、時には激しい言葉で叫ばれる神の姿が描かれている。キリストは「わたしはあなたの

ために、信仰がなくならないように祈った」と言われた。家族や周りにつぐないきれない負い目をおったアルコール依存症の人の中には、この言葉を読んで脱依存症プログラムへ参加する方もいるそう。キリストはこの人々を励ましておられる。だから私たちは神を讃えないといけないと話した。

午後の講話では、松浦司教は次のように話された。ゆるしの秘跡に負担を感じている人もいるかもしれないが、罪を赦してもらおうという恵みをもたらしてくれる。実際そこで喜んで終わる人が多い。しかし、①キリストと出会うこと②派遣されることを忘れていて。あなたが赦しを願う時、イエス様がひざまずいてあなたの足を洗ってくれているのである。

神はすべての人に赦しを与えられたが、私たちに「私を赦してください」という気持ちがないと赦されない。神に心を開いて、初めて赦しがある人の中に入ってくるのである。これは他宗教の方も同じである。イエスと一緒に十字架にかけられた強盗の話を出そうと呼びかけられた。

講話のあと、各グループで分かち合いをし、ミサの中で分かち合いの結果が報告された。最後に聖年の公式聖歌である「希望の巡礼者」を皆で歌った。

黙想指導者並びに、主催者、奉仕者、そして多くの参加者の協力により、実り多き黙想会となった。2026年11月に開催される日本カトリック障害者連絡協議会名古屋全国大会に向けて、この教区障害者連絡会に多くの協力が集まることを願う。(高柳啓)

のとセンNEWS〈3月〉

みなさまにご支援いただいているカリタスのとサポートセンター（のとセン）の活動や、できごとを紹介していきます。

【若さで元氣と希望をもたらしってくれる高校生・青年ボランティア】
3月度（3月1ー30日）のボランティア参加人数は33人（女性15人、男性18人）でした。春休みに入り、学生や高校生も多く参加してくださったこともあって、2月度の17人（女性11人、男性6人）からほぼ2倍となりました。

もともとあった過疎化問題に震災、豪雨災害が加わって、能登の若年層は市外、県外へと出てしまいかれました。
【家とのお別れ、思い出とお別れ、被災者の苦しい思いに寄り添う】
今年に入って、特に解体前のお家の片付けや搬出のお手伝いなどをさせていたたく活動が多くなっています。家財を運び出すにあたっては、第三者から見れば災害ゴミかもしれないが、家族にとっては思い出の品、捨ててほしくないものなどもあり心が痛んだ、と分かち合ってくれた方もありました。一度は要らないと分別していたものでも、確認すると「これはやはり捨てられない」ということもあります。そのような経験から、おらっちゃん七尾では判断に迷ったものをを入れる箱を事前に準備する配慮もしています。長年大事に使ってきたたくさんの愛用のものが、災害に遭ったがために「ゴミ」として処分されてしまう。そんな被災者の方々の、時には引き裂かれるような痛みと悲しみを心に刻みながら、わたしたちは心遣いを忘れずに活動していきたいと思っています。



【家とのお別れ、思い出とお別れ、被災者の苦しい思いに寄り添う】
今年に入って、特に解体前のお家の片付けや搬出のお手伝いなどをさせていたたく活動が多くなっています。家財を運び出すにあたっては、第三者から見れば災害ゴミかもしれないが、家族にとっては思い出の品、捨ててほしくないものなどもあり心が痛んだ、と分かち合ってくれた方もありました。一度は要らないと分別していたものでも、確認すると「これはやはり捨てられない」ということもあります。そのような経験から、おらっちゃん七尾では判断に迷ったものをを入れる箱を事前に準備する配慮もしています。長年大事に使ってきたたくさんの愛用のものが、災害に遭ったがために「ゴミ」として処分されてしまう。そんな被災者の方々の、時には引き裂かれるような痛みと悲しみを心に刻みながら、わたしたちは心遣いを忘れずに活動していきたいと思っています。

また、1年以上



が経つ中で、ようやくぼつぼつと被災者の方たちがぐくぐつて来られた生々しく、厳しい現実の体験を分かち合ってください。ことも出てきています。他者から受けた心無い言動の厳しさに、涙が出るほどショックを受けた若者たちもいました。災害当事者ではないわたしたちは、被災者の方たちの前で何気なく言葉を出したり、安易に物を扱ったりしていることもあるかもしれません。被災者の方たちが、今まで心の奥にずっと収めて黙っていた痛みを、ようやく表現できるようになってきたプロセスを大切にしながら、お一人お一人の体験をお聴きし、自分事として受け止めて寄り添っていく姿勢を大切にしていきたいです。（吉田彰子）

エスナック主催
チャリティコンサート

カトリック瀬戸教会で、エスナック主催のチャリティコンサートが3月2日に開催された。来場者116名のうち半数以上は信徒以外の人々で、新しい宣教の風が吹いたと言える。

今回のコンサートは、バングラデシにある移民センターが放火被害に遭い、オペレート修道会司祭や神の愛の宣教師会のシスターたちが、人里離れた地域で暮らす村人たちを一軒ずつ訪ねている、という知らせがきっかけだった。彼らは、食料、衣料品、医療、ミサの道具等、全てを失った。友人、知人に呼びかけ、南山教会4兄弟が歌う子どもに人気のある歌、雪の聖母アンサンブル管弦楽団演奏、瀬戸教会信徒のクラシックオルガン、ギターでのテゼの祈り、高蔵寺教会信徒の体を動かして歌う曲、元名フィル団員のホルン演奏、ゴ

2025年度 一粒会委員総会 開催のお知らせ

日時 5月25日(日) 14:00開始
場所 布池教会 地下ホール
対象者 名古屋教区内全小教区の一粒子委員
※教区行事予定表には5/18となっていますが、5/25に変更になりました。お間違えないようにお願いします。
問合せ 西村由美子 ☎090-1279-9932
山内 雪 ☎090-8420-2318

〈カルメル修道会日比野修道院、講座、黙想企画〉
【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】
ーキリストの十字架の恵みをより味わうためにー

日時 5月17日(土) 14:30~16:30
テーマ エステル記（ヘブライ語）のメッセージとギリシャ語エステル記
持ち物 必ず聖書（旧約+新約）をご持参ください。
場所 カルメル会日比野修道院（日比野教会）、参加費無料。
どなたでもご自由にご参加ください。
担当 志村武神父（カルメル修道会）
問合せ 日比野修道院（052-671-1003）
以降の予定 6月21日(土)、7月19日(土)

クリスマス献金のお礼とご報告

待降節よりお願いいたしました「クリスマス献金」は、次のようにご厚志が集計されましたので、支援先と共にご報告申し上げます。2024年度は教会・修道会・病院・幼稚園・個人の方々より36件875,688円（振込手数料等引き去り後金額）をいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。
支援をさせていただいたのは下記の団体です。心より感謝申し上げます。
名古屋教区内で活動されている団体へ今後とも皆様のご理解、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

支 援 先	支援金(単位円)
福信館・炊き出し部	300,000
岐阜ダルク	50,000
名古屋ダルク	50,000
三河ダルク	50,000
リカバリーセンターフェロー・名古屋マック	50,000
NPO 法人セカンドハーベスト名古屋	200,000
名古屋教区・外国人生活困窮者支援シェルター	175,688
合 計	¥875,688

名古屋教区カリタス福祉委員会
〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15
電話 052-852-1426 Fax 052-852-1422

性虐待被害者のための
祈りと償いの日のミサ

フランシスコ教皇は2016年に「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けることを通達し、これを受けて日本の司教団は四旬節の第2金曜日をこの日と定めた。今年3月21日となった当日、名古屋教区では布池司教座聖堂で朝7時に松浦信郎司教と4人の司祭により、その意向のミサが奉げられた。はじめに松浦司教は菊地功枢機卿の出した司教団メッセージの一部を読み、神の似姿である人間をないがしろにし、優位な立場を利用した行いに教会は心から謝罪し、被害者の苦しみからの救いと癒しを祈る決意を語った。又、ミサの終りに岩崎一二三神父が、名古屋教区の決意表明文を読み上げた。

「名古屋教区性虐待、性暴力、ハラスメント防止決意表明」より抜粋
私たちは教会の一員として、これまで聖職者による性虐待、性暴力によって深く傷つけられた人々に謝罪するとともに、今後、このようなことを決して起こすことなく、神が一人一人に与えて下さった尊厳、特にもつとも弱い立場に置かれていた人々たちを守るために全力をつくします。





11日(日) インターナショナルミサ (城北橋教会) *

3日(土) 祝殉教者委定例会
10日(土) A・J・U創立35周年式典*
宣教司牧評議会「運営委」
／典礼委員会コアミーティ
ング／信徒協役員会

5月 教区行事予定 (*＝松浦司教)

1日(日) 主の昇天(祭)
8日(日) 聖霊降臨の主日(祭)
15日(日) 三位一体の主日(祭)
22日(日) キリストの聖体(祭)
24日(火) 洗礼者聖ヨハネの誕生(祭)
27日(金) イエスのみ心(祭)
29日(日) 聖ペトロ 聖パウロ使徒(祭)
聖ペトロ使徒座への献金

6月の主な教会暦(主日・祭日など)

2日(金) 聖アタナシオ司教教会博士(記)
3日(土) 祝聖フィリポ 聖ヤコブ使徒(祝)
4日(日) 復活節第3主日
11日(日) 復活節第4主日
14日(水) 世界召命祈願の日
18日(日) 聖マチア使徒(祝)
25日(日) 復活節第5主日
26日(月) 復活節第6主日
31日(土) 世界広報の日(献金)
聖フィリポ・ネリ司祭(記)
聖母マリアの訪問(祝)

(祭)＝祭日、(祝)＝祝日、(記)＝記念日
5月の教会暦

17日(火) 城東B会議
15日(木) 樹の会
13日(土) 正義と平和委「学習会」*
／樹の会・総会講演会／レ
ジオ・マリエ「名古屋クリ
ア」

15日(日) 正義と平和委「学習会」*
／樹の会・総会講演会／レ
ジオ・マリエ「名古屋クリ
ア」

14日(土) 布池教会堅信式*／宣教司
牧評議会*

9日(月) 大阪高松教会管区司
牧者研修会*

10日(火) 樹の会
12日(木) 顧問会*

13日(金) 松浦司教着座記念日
14日(土) 典礼委員会コアミーティ
ング／殉教者委定例会／信徒
使徒職大会*

15日(日) 富山教会堅信式*／愛岐B
会議

17日(火) カトリック看護協会例会
21日(土) レジオ・マリエ「名古屋ク
リア黙想会」

7日(土) 信徒協役員会
8日(日) 布池教会堅信式*／宣教司
牧評議会*

9日(月) 大阪高松教会管区司
牧者研修会*

10日(火) 樹の会
12日(木) 顧問会*

13日(金) 松浦司教着座記念日
14日(土) 典礼委員会コアミーティ
ング／殉教者委定例会／信徒
使徒職大会*

15日(日) 富山教会堅信式*／愛岐B
会議

17日(火) カトリック看護協会例会
21日(土) レジオ・マリエ「名古屋ク
リア黙想会」

20日(火) カトリック看護協会例会
25日(日) 一粒会「委員総会」*／愛
岐B「兄弟の集い」／北陸
B会議

29日(木) 顧問会*／司祭評議会常任
委員会*

31日(土) 教区法人評議員会*

6月 信徒協役員会
布池教会堅信式*／宣教司
牧評議会*

9日(月) 大阪高松教会管区司
牧者研修会*

10日(火) 樹の会
12日(木) 顧問会*

13日(金) 松浦司教着座記念日
14日(土) 典礼委員会コアミーティ
ング／殉教者委定例会／信徒
使徒職大会*

15日(日) 富山教会堅信式*／愛岐B
会議

17日(火) カトリック看護協会例会
21日(土) レジオ・マリエ「名古屋ク
リア黙想会」



建設費の返済に協力を

677件 38,018,661円
目標額 40,000,000円 (3月末現在)

達成率 約95.04%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福音館建設」と必ず
ご記入ください。

◇5月の吹き出し
木1日布池、8日ひまわり・南山・
樹の会、15日聖霊・南山・樹の会、
22日城北橋、29日一宮
金2日喜望の会、9日長浦、16日
布池、23日南山、30日恵方町



5日(木) 常任司教委員会 会議
16日(月) 司教総会

6月 常任司教委員会 会議
大阪高松教会管区司教団
大船渡視察とミサ

8日(木) 常任司教委員会 会議
18日(日) 大阪高松教会管区司教団
大船渡視察とミサ

5月 常任司教委員会 会議
16日(月) 司教総会

6月 常任司教委員会 会議
大阪高松教会管区司教団
大船渡視察とミサ

8日(木) 常任司教委員会 会議
18日(日) 大阪高松教会管区司教団
大船渡視察とミサ

5月 常任司教委員会 会議
16日(月) 司教総会

6月 常任司教委員会 会議
大阪高松教会管区司教団
大船渡視察とミサ

8日(木) 常任司教委員会 会議
18日(日) 大阪高松教会管区司教団
大船渡視察とミサ

5月 常任司教委員会 会議
16日(月) 司教総会

6月 常任司教委員会 会議
大阪高松教会管区司教団
大船渡視察とミサ

8日(木) 常任司教委員会 会議
18日(日) 大阪高松教会管区司教団
大船渡視察とミサ

『聖母マリアを賛美する歌の集い』

日 時 5月31日(土)
10:00開場 10:30開演
会 場 カトリック半田教会 (半田市終町4丁目201-10)
☎0569-22-7416
<https://www.catholic-handa.org/>
会場へのアクセス
名鉄知多半田駅より 南吉バス:半田中央線
C21に乗り 平安会館中央斎場下車。徒歩約3分。
主 催 音楽と祈りの会 (代表 石原立教)
入 場 料 無料ですが会場での献金をお願いします。
演奏曲目 シューベルト、カッチーニ、グノー、アルカデ
ルトらの「アヴェ・マリア」を4曲、またモー
ツァルトの「アヴェ・ヴェルム・コルプス」、
さらにカトリック聖歌集より2曲。
出 演 者 上井雅子 (ソプラノ) 番美貴子 (アルト)
加藤武志 (バリトン) 加藤久美子 (ピアノ)
石原立教 (指揮)
駐車場はありませんので、なるべく公共交通機関でご来場
ください。
問 合 せ 石原立教まで、メールにて。
au332059@gmail.com

名古屋教区カトリック女性の会 「樹の会」(いつきのかい) 第18回総会・講演会ご案内

《総会》
日 時 5月17日(土) 13:30~14:15 (受付 13:00)
場 所 カトリック膳棚教会パウロ館 (瑞穂区膳棚町1-26)
地下鉄桜通線 瑞穂運動場西下車
①番出口徒歩数分
《講演会》
日 時 5月17日(土) 14:30~15:30 (受付 14:15)
場 所 カトリック膳棚教会パウロ館
テーマ 「生きづらさと依存症」
講 師 遠山 香氏 (岐阜ダルク施設長)
プロフィール
高校進学と同時に、薬物依存に陥る。35歳の時
にダルクと出会い回復が始まった。岐阜ダルク
立ち上げに奔走し、2004年10月岐阜ダルク設立。
20年間、依存症者の自立をサポートしている。
会 費 無料。ミニバザーもあります。
公共交通機関をご利用ください。
連絡先 「樹の会」事務局 (☎090-7024-9626 金森)

南山教会75周年記念 巡礼旅行のご案内

2025年は南山教会創立75周年、神言会150周年、そしてカトリック教会が定める「聖年」です。これを機に南山教会では以下の通り巡礼旅行を企画しました。聖アーノルド・ヤンセン生誕の地ゴッホ(ドイツ)、神言会発祥の地シュタイル(オランダ)、ケルン、アッシジ、ローマ(バチカン)などを訪問します。所属教会に関わらずお申込み可能です(定員30名まで、定員になり次第申し込みを締め切ります)。
実施期間 9月1日出発(中部国際空港発)
～9月11日帰国(中部国際空港着)
参加費用 76万8千円
(旅行費用65万8千円+燃油サーチャージ11万円)*
*参加者30名で2人部屋利用の場合のお1人あたり概算額です。
引 率 南山教会主任司祭
企画・実施 パウラプランニング(東京都知事登録旅行業 第2-8026号)
旅程や申込み方法など詳細は下記の専用ウェブサイトまたはQRコードからご覧ください。「カトリック南山教会創立75周年記念巡礼」で検索可能。ウェブまたはFAXでお申し込みが可能です(お申込み後のキャンセルには規定のキャンセル料がかかります。キャンセルポリシーをよくお読みください。
<https://paulaplan.com/nanzan2025.html>



2025年度 正義と平和委員会 学習会

第1回「ゴロー司教と平和について何でも語ろう」

講 師 松浦悟郎司教 日 時 2025年5月17日(土) 13:00~14:30
会 場 カトリック布池教会 大聖堂地下ホール (名古屋市東区葵1-12-23)
地下鉄 東山線新栄駅から徒歩8分 桜通線車道駅から徒歩8分
JR 中央本線千種駅から徒歩9分
申し込み不要、参加費無料。
主 催 カトリック名古屋教区正義と平和委員会
問合せ 浅野幸治 asano@toyota-ti.ac.jp または ☎090-8860-3627

こどもとともにささげる名古屋教区インターナショナルミサ International Mass With Children

テーマ 「みんなで希望の鐘につながろう」
日 時 2025年5月11日(日) 14:00~ Date and time: May 11th (SUN) 14:00~
場 所 カトリック城北橋教会 Place: Catholic Johokubashi Church
司 式 ミカエル松浦悟郎司教 With Bishop Michael Goro Matsuura
ミサ後 持ち寄り茶話会 Potluck Party after mass
主 催 名古屋教区難民移住者委員会 共 催 教会学校教師会
問合せ ☎052-953-9480

社会活動ネットワーク おかざき九条の会 結成20周年記念 池内 了さん講演会

日 時 5月18日(日)
開演 13:30 (開場 13:00)
テーマ 混迷する世界を
どう生き抜くか?
一憲法9条を生かした
平和外交を貫く一
場 所 せきれいホール
(岡崎市朝日町3-36-5)
☎0564-25-0511
前 売 800円 当日 1000円
障害者・学生は無料
(事前予約)
問合せ ☎090-9172-4448
神谷 (かみに)

サダナ ～神への道～ 【入門コース】

聖イグナチオの霊性を基に、「心と知性の静けさ」「神様との個人的な触れ合い」を体験します。
日 時 入門A 5月17日(土) 9:30~17:00
入門B 6月14日(土) 9:30~17:00
入門C 7月5日(土) 9:30~17:00
場 所 聖霊会 八事修道院
ミッションセンター
名古屋市昭和区八事本町1番地
(駐車可)
指 導 植栗 彌神父 (イエズス会)
問合せ 攪上暁子 (かくあげ あきこ)
メール ngosdn@gmail.com
☎050-7108-7410
参加者喜びの声 右QRコードより
ご覧ください。



教区第三次人事異動

秋元伸介終身助祭は布池教会助任助祭